

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.40	
	「3歳未満児保育」	28	4.14	
	「3歳以上児保育」	53	3.89	
	「教育保育の配慮事項」	14	4.29	
	「健康・安全」	29	4.55	
	「子育ての支援」	18	4.11	
	「職員の資質向上」	9	4.44	
	計	166	4.18	
総合 評価	自己評価としては、点数が上向きになってきている部分が見てとれた。日頃の職員一人ひとりの意識が上向いてきている証拠だと感じている。細かな部分として教育・保育の内容について深めていく事や、常日頃から大きな怪我や事故に繋がらないためのリスクマネジメント、地域に向けた子育て支援、専門知識のアウトプットする機会の作成など、課題が明確になってきている。 上記の部分をつまみ食いではなく、職員一人ひとりが自身の課題と結び付けて主体的に課題解決にむかっていけるように、日々業務に取り組んでいきたい			

事業計画（今年度の重点目標）

項 目	内 容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	ノンコンタクトタイムの取得に向けて状況把握を目的とした会議を行う（年2回）
子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	BCP を用いて大規模災害時のシミュレーション研修を行う（年2回）
保護者との「信頼」の構築	個別懇談時に、個別カリキュラムを用いて教育・保育・支援の内容を説明する（年2回）